

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年08月27日

計画の名称	館林市における安全で安心な暮らしを実現するための基盤整備（重点計画）														
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	館林市														
計画の目標	近年の集中豪雨被害の深刻化への対応策として効果的な都市浸水被害軽減に資する施設整備を行い、都市浸水対策達成率の向上を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		300	A	300	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	(H32末)	(H34末)
1	下水道における都市浸水対策の達成率を13%（H30）から13%（H34）に向上させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率（%） ＝（概ね5～10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha)）／(都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha))	13%	13%	13%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	館林市	直接	－	管渠（ 雨水）	新設	館林処理区（鶴生田左岸1 号幹線他）（A1-1）	□1,400×2,000mm他，L=320 m	館林市	■	■	■	■	■	300	－	－	
											小計							300		
											合計							300		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
目標値は、下水道による都市浸水対策達成率であり、客観的に算定される数値であることから、館林市により事後評価を行う。	令和6年度
	公表の方法
	館林市ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	雨水幹線及び雨水管渠の整備を行ったことで、整備面積を「0.43ha」拡張させ浸水対策に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
令和9年度に下水道による都市浸水対策達成率を「24%」以上を達成することを目標として整備促進していく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	13%	令和３年度に全体計画を変更したため
	最 終 実績値	23%	